

総代会の様子



当金庫役員

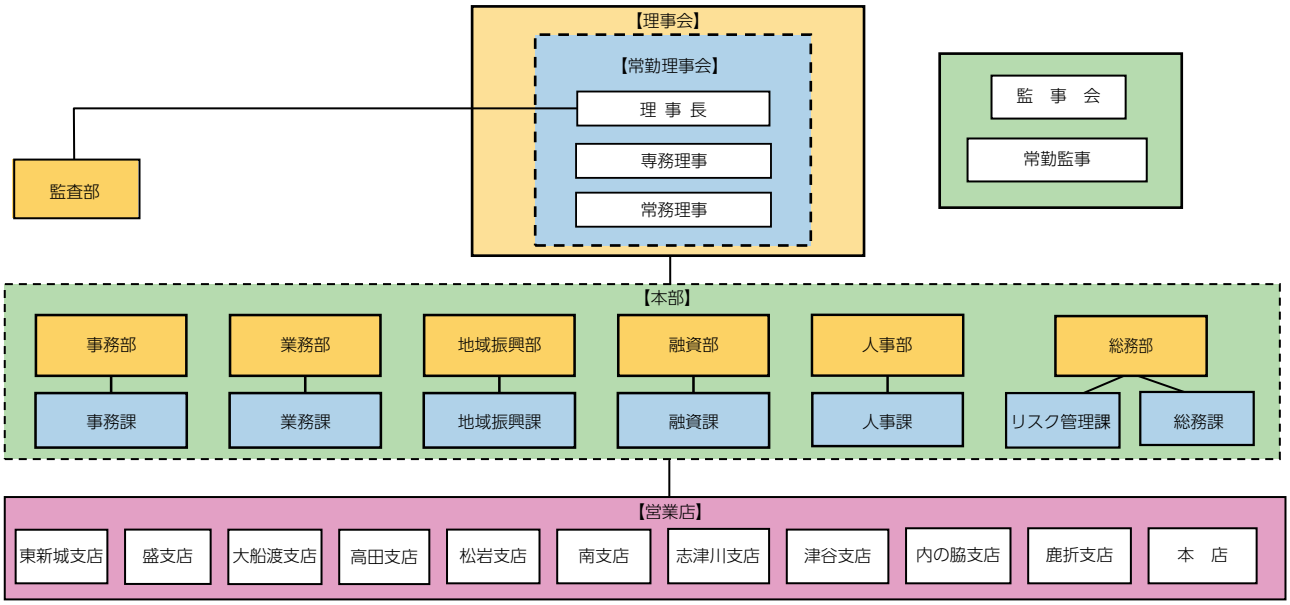
役員一覧　2026年6月26日現在

理事長（代表理事）	小山栄太郎		
専務理事（代表理事）	藤田　洋平	（※1）	
常務理事	佐藤　秀徳		
常務理事	髙橋　弘則		
非常勤理事	佐藤　亮輔	（※1）	
非常勤理事	森田　潔	（※1）	
非常勤理事	清水　敏也	（※1）	
常勤監事	及川　由美		
非常勤監事	髙橋　台藏		
非常勤監事（員外）	生駒　利夫	（※2）	

※1　理事　藤田洋平、佐藤亮輔、森田潔、清水敏也は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。
※2　監事　生駒 利夫は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

組織図

2026年6月末日現在



当金庫の沿革

大正15年	9月	有限責任気仙沼信用組合設立（組合長　森田八郎、営業区域　気仙沼町・鹿折村・松岩村、事務所気仙沼町字八日町91番地　組合長宅）
昭和7年	1月	事務所新築落成(西風釜41番地の6へ移転)
8年	3月	保証責任信用組合に組織変更
11年	10月	創立10周年記念式典挙行
16年	2月	営業区域を気仙沼町、鹿折村に変更
18年	12月	市街地信用組合法による気仙沼信用組合に改組
19年	1月	庶民金庫（現日本政策金融公庫）と代理業務契約締結
23年	3月	金融機関再建整備法最終処理完了（出資金及び、第2封鎖預金共に切捨なく実行）
25年	4月	中小企業等協同組合法による信用組合に改組（営業区域　気仙沼町、鹿折村、大島村、新月村、唐桑村、松岩村、階上村に拡大）
26年	3月	鹿折支店新設（字蔵底363番の128）
	8月	気仙沼町歳入金庫事務取扱契約締結
	11月	信用金庫法により気仙沼信用金庫に改組
27年	8月	内の脇支店新設（字内の脇488番の1）
30年	9月	内の脇支店店舗新築(字内の脇490番へ移転)
	10月	創立30周年記念式典挙行
31年	2月	森田理事長死去（金庫葬を挙行）
	3月	桜田庄助専務理事、理事長に就任
34年	7月	営業区域を気仙沼市及び本吉郡一円に拡大
	8月	津谷支店新設（本吉町津谷松岡33番の1）
37年	4月	本店店舗新築落成(八日町二丁目4番10号)
39年	4月	気仙沼市収納代理金融機関指定を受ける 本吉町指定代理金融機関指定を受ける 志津川支店新設（志津川町字十日町2）
39年	5月	志津川町収納代理金融機関指定を受ける
40年	2月	内の脇支店店舗新築落成(魚市場前2番1号)
	5月	鹿折支店店舗新築落成（新浜町一丁目1番25号へ移転）
41年	10月	創立40周年記念式典挙行
43年	1月	津谷支店店舗新築落成（本吉町津谷松岡26番へ移転）
44年	4月	住宅金融公庫（現住宅金融支援機構）と貸付代理店契約締結
	9月	営業区域を登米郡、岩手県大船渡市、陸前高田市、気仙郡一円及び東磐井郡（現一関市千厩町、藤沢町、大東町、室根村）まで拡大 駅前支店新設（古町一丁目3番12号）
45年	6月	金利改訂（日歩を年利率に改定）
46年	4月	都市銀行との為替取引業務開始
47年	4月	駅前支店店舗新築落成（古町一丁目2番10号へ移転）
49年	9月	南支店新設（田谷12番地の1）
51年	11月	桜田理事長死去（金庫葬を挙行）
52年	2月	昆野太兵衛理事、理事長に就任
53年	5月	創立50周年記念式典挙行
54年	2月	しんきん為替、全銀システムに加入
55年	12月	本店事務所増築工事完成
56年	9月	松岩支店事務所開設、東北財務局より内認可を受ける
57年	4月	外貨通貨、旅行小切手の買取業務開始
	8月	松岩支店新設（松崎片浜106番地の111）
58年	4月	本店、鹿折支店、内の脇支店、南支店、CD稼動
	8月	月1回（第2土曜日）週休2日制実施
	10月	駅前支店CD稼動
59年	1月	松岩支店CD稼動
	9月	志津川支店店舗新築落成（志津川町十日町154へ移転）
60年	3月	志津川支店CD稼動
61年	3月	大蔵大臣より、国債等の窓口販売について認可を受ける
	5月	大蔵大臣より、中期国債の窓口販売について認可を受ける
61年	8月	月2回（第2・3土曜日）週休2日制実施
62年	5月	昆野理事長辞任に伴い廣野甚吉理事が新理事長に就任
	10月	長期利付国債（20年）及び中期国債の売買業務の認可を受ける
63年	2月	全店ATM化
64年	1月	第三次オンライン移行
平成元年	2月	完全週休2日制実施 本店、南支店CD土休稼動
2年	11月	津谷支店、志津川支店CD土休稼動
3年	1月	本店、南支店のサンデーバンキング実施
	8月	資金移動取引（ホームバンキング）の取扱開始
9年	5月	廣野理事長辞任に伴い森田昭夫理事が新理事長に就任
10年	8月	宮城県収入証紙売りさばき人の指定を受ける
	11月	（株）徳陽シティ銀行気仙沼支店営業譲受け
11年	10月	郵便貯金ATMとの相互接続開始
	12月	津谷支店新築移転（本吉町津谷新明戸190-1）
12年	1月	ATM振替機能追加
	3月	気仙沼市八日町のワンテンビルにATM設置
	4月	唐桑町収納代理金融機関指定を受ける デビットカード取扱開始
	12月	しんきんゼロネットサービス開始
13年	3月	スポーツ振興くじ払戻業務開始
	4月	保険窓販業務開始（損保商品）
14年	6月	森田理事長辞任に伴い加藤稔専務理事が新理事長に就任
	7月	岩手信用組合から事業を譲受け、高田・大船渡・三陸支店を開設 森田昭夫理事が会長に就任 大船渡市盛町のサンリアショッピングセンターにATM設置
15年	1月	保険窓販業務開始（生保商品）
16年	3月	ホームページを開設
	11月	無利息型普通預金（決済用預金）の取扱開始
17年	2月	岩手県収入印紙売りさばき人の指定を受ける
	12月	森田会長死去
18年	10月	一関信用金庫より一部事業譲受け 高田支店店舗統合・盛支店新設
19年	1月	気仙沼市内スーパー「クリエみうら松岩店」内にATM設置
	11月	気仙沼市立病院にATM設置

２０年	４月	気仙沼市内スーパー「クリエみうら階上店」内に ATM 設置
２２年	６月	加藤稔理事長が会長就任に伴い菅原務が新理事長に就任
２３年	３月	東日本大震災により、全 12 店舗中 10 店舗被災（全壊 7 店舗、大規模半壊 1 店舗、床上浸水 2 店舗）
	１１月	東日本大震災被災者支援プログラム「三陸復興トモダチ基金」設立・運営開始
２４年	１月	特定震災特例経営強化計画　策定
	２月	金融機能強化法による資本支援（150 億円）受入れ
	３月	震災復興支援に係る専担部署「復興支援課」設置 東北財務局より東日本大震災被災者支援プログラムが評価され顕彰される
２５年	２月	東新城支店新設（東新城二丁目 10-1）
	４月	志津川支店店舗新築落成（南三陸町志津川字磯の沢 117-49 へ移転）
	１１月	三陸支店を廃止し、盛支店に統合 気仙沼市内スーパー「クリエみうら松川店」内に ATM 設置
	１２月	日本財団資金拠出「わがまち基金」設立 一般財団法人気仙沼しんきん復興支援基金の設立
２６年	２月	公益財団法人三菱商事復興支援財団による匿名組合出資配当金を活用した「気仙沼きぼう基金」設立
	７月	気仙沼「海の市」内に ATM 設置
２７年	３月	松岩支店店舗新築落成(松崎萱 33-14 へ移転)
２８年	３月	クリーンチェックの取扱中止
	５月	気仙沼市・気仙沼商工会議所・気仙沼信用金庫による「地方創生に係る包括連携に関する協定」
	７月	東京東信用金庫との業務提携基本協定の締結
	８月	東京東信用金庫・東京海洋大学・気仙沼信用金庫による学・金広域連携事業「地産都消プロジェクト」発足
	１１月	創立９０周年記念式典挙行
２９年	３月	本店・本部店舗新築開店（八日町二丁目４番１０号）
３０年	３月	鹿折支店店舗新築落成（新浜町二丁目 4-13 へ移転）
令和元年	９月	外貨両替取扱終了
	１０月	国立大学法人東京海洋大学との産学連携協力に関する協定書締結
	１２月	よい仕事おこしフェア実行委員会に参画
２年	１２月	高田支店店舗新築落成（陸前高田市高田町字馬場103-1へ移転）
３年	１月	内の脇支店店舗新築落成（仲町二丁目2-30 へ移転）
	５月	気仙沼ビズに参画
	９月	大船渡支店新築落成および大船渡支店の店舗内店舗として盛支店移転（大船渡市大船渡町茶屋前162-3）
４年	２月	駅前支店　東新城支店へ統合
	３月	気仙沼「ワンテンビル内ATM」廃止 気仙沼「海の市内ATM」廃止
	６月	菅原理事長退任に伴い副理事長小山栄太郎が新理事長に就任
	１１月	電子交換所運用開始
５年	９月	県内の金融業では初となるユースエール企業に認定
６年	１月	バンキングアプリ業務開始
	２月	ことら送金業務開始
	３月	南支店建替のため内の脇支店にて仮移転営業開始
	７月	地域課題の把握、解決に向けて地域振興部を新設
７年	４月	南支店新築開店
８年	２月	優先出資150億円を消却
	５月	気仙沼信用金庫100周年記念式典・祝賀会を挙行